

【プレスリリース】

## 被災地の高校生70名が東京に集結 東北の未来の姿を提言する 「ビヨンドトゥモロー東北未来リーダーズサミット」開催

2011年10月24日  
一般財団法人 教育支援グローバル基金

一般財団法人教育支援グローバル基金は、この度、東日本大震災により被災した若者のリーダーシップ教育支援事業「ビヨンドトゥモロー／BEYOND Tomorrow」の一環として、「ビヨンドトゥモロー東北未来リーダーズサミット」を開催いたします。

### ◆ビヨンドトゥモロー東北未来リーダーズサミット 概要◆

日時： 2011年10月28日（金）～30日（日）

参加者： 東日本大震災の際に、岩手・宮城・福島いずれかの県に居住しており、震災を乗り越えてグローバルな視野を持ち国内外で活躍するリーダーになることを志す高校生70名（書類選考によって選出）。

（主な内訳）

男女比： 男31、女39

県別： 宮城県37、岩手県21、福島県11、神奈川県（宮城県気仙沼より避難中）1名

趣旨： 本サミットは、東日本大震災により被災し、困難な状況を経験しながらも、グローバルな視野を持ち国内外で活躍する志をもつ若者を対象とし、様々な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、東北の復興のあり方について、グループ毎に提言をまとめ、その提言は、最終日に、政治・行政・ビジネス・メディア・NGOなど各方面のリーダーたちの前で参加高校生自らによって発表されます。また、宿泊を伴う対話形式のプログラムの中では、スポーツや音楽、文芸など幅広い領域で活躍する第一人者の方々を招いて将来のビジョンについて考える機会も提供いたします。震災・津波という困難を経験したからこそ、他者への共感をもって広い社会のために行動を起こすことができる人材が出てくるという信念のもとに、このサミットを通して、参加学生が、逆境を乗り越えて果たすべき社会的な役割について考え、アクションに移すきっかけを提供する計画です。

### ◆参加者プロフィール◆

30日（日）の閉会式では、下記4名の生徒代表が、スピーチを行います（メディアの方の閉会式へのご参加は、別紙のご案内をご覧ください）。

#### 【阿部菜穂（あべ・なほ） 宮城県気仙沼高等学校 3年】

宮城県南三陸町で被災。母と一度は高台に避難したものの津波にのまれ、自身は奇跡的に一命をとりとめたものの、最愛の母を亡くす。救命士である父の影響を受け、臨床工学技士として宮城県における医療活動に従事し、活躍することが将来の夢。自分にとって最大の理解者であり憧れであった母や、亡くなった同級生やのためにも強く希望を持ち生きていきたいと、夢の実現のために大学進学を志している。

高校では生徒会役員として活躍。また、ボランティア部に所属し、障害のある子どもたちとの交流活動を行った。

東北未来リーダーズサミットでは、ディスカッションや交流の場を持てることを楽しみにしている。

#### 【菊地将大（きくち・まさひろ） 岩手県立高田高校 3年】

犠牲者が約1800人に及んだ陸前高田市で被災し、両親を亡くす。高校では生徒会長としてリーダーシップを発揮、また震災後、第14代高校生平和大使としてスイスの国連欧州本部を訪問した。震災で世界より多くの支援が寄せられたことから国際連帯の重要性を感じ、世界に防災の必要性を発信していくことが日本の今後の使命であると考えている。

将来の夢は、行政の仕事に就き、被災地の復興を先導する立場になること。特に、多くの人が職場を失い、経済的困難にあえぐ状況に強い危機感を覚え、雇用問題の解決に貢献したいと考えている。サミット参加により、各方面でリーダーとして活躍する方々と交流することで刺激を受け、より志を高めることができることを期待している。

#### 【藤田真平（ふじた・しんぺい） 神奈川県立岸根高等学校 3年】

震災で気仙沼の自宅が全焼し、現在、神奈川県で避難生活を送る。13年間続けてきた水泳が心の支え。震災後6

月に開催された神奈川県高校総体競泳では7位という成績を収め、関東大会へ駒を進めた。9月には、山口県で行われた国民体育大会で宮城県代表として出場し自己新記録で12位。

現在は、家族と離れて、神奈川大学水泳部の寮で暮らしながら神奈川県内の高校に通学。大学進学後は全国大会に出場し、日本一の選手になるという夢を持っている。震災で家を失って学んだ「当たり前」の生活がとても幸せだということ、そして水泳を続けて学んだ「諦めず続ける事の大切さ」を、東北未来リーダーズサミットでは発信していきたい。

【増子光希（ましこ・みき） 福島県立郡山高等学校 1年】

福島県郡山市で震災を体験。その後も放射能問題による福島に対する風評被害や差別を実際に体験し、全国の人々に対して福島の状況を発信していきたいと考えている。

今後、東北が復興するためには、多くの人々が東北を理解し、支えてくれることが重要であると考え、2012年からAFSみちのく応援奨学生としてスイスに留学予定。留学先では、高校生外交官として、福島の現状を積極的に伝えたい。将来は国連職員になり、世界の開発問題の解決に貢献することが夢。そのためにも、グローバルな教養・思考を身につけていきたいと、勉学に励んでいる。

ビヨントゥモロー東北未来リーダーズサミットでは、東北地方で被災体験を共有する仲間と東北の復興についてディスカッションすることで自己成長の機会とし、来年の留学に活かすことが目標である。

◆サミット・スケジュール◆

28日（金）	オリエンテーション・自己紹介
29日（土）	午前 朝食会（特別ゲスト参加） ディスカッション（体験共有：自分の体験・被災地のニーズ）
	午後 外部講師へのインタビューセッション 提言プレゼンテーション準備
	夜 夕食会（特別ゲスト参加）
30日（日）	午前 プレゼンテーション練習 閉会式・提言発表会

◆参加者在籍高校一覧（順不同）◆

宮城県	聖ウルスラ学院英智高等学校 聖和学園高等学校 東北高等学校 宮城県石巻西高校 宮城県石巻市立女子高等学校 宮城県石巻市立女子商業高等学校 宮城県気仙沼高等学校 宮城県気仙沼向洋高等学校 宮城県志津川高等学校 宮城県仙台三桜高等学校 宮城県東松島高等学校 宮城県宮城第一高等学校 宮城県立石巻北高等学校 宮城県利府高等学校 常盤木学園高等学校 仙台育英学園高等学校 仙台白百合学園高等学校 東陵高等学校	岩手県	岩手県立大船渡高等学校 岩手県立高田高校 岩手県立宮古商業高等学校 岩手県立大船渡東高等学校 花巻学院花巻東高等学校 岩手県立花北青雲高等学校 岩手県立宮古高等学校 岩手県立盛岡第一高等学校 いわき秀英高等学校 福島県立あさか開成高等学校 福島県立安積高等学校 福島県立工業高等学校 福島県立郡山高等学校 福島県立相馬東高等学校 福島県立湯本高等学校
		福島県	郡山商業高校 神奈川県立岸根高等学校
		神奈川県	

◆ご支援いただいた企業・団体◆（50音順）

支援企業

株式会社ガリバーインターナショナル、武田薬品工業株式会社、フェデックス キンコーズ・ジャパン株式会社、三菱重工業株式会社、ロート製薬株式会社、CLSA

**協力団体**

神戸芸術工科大学 infoGuild

特定非営利活動法人 東日本大震災こども未来基金

**◆BEYOND Tomorrow／ビヨンドトゥモローとは◆**

BEYOND Tomorrow は、東日本大震災における震災孤児や震災遺児をはじめとした被災児童に対して次世代を担うリーダーやスペシャリストとなる人材となるための支援プログラムを提供する教育支援事業です（運営：一般財団法人 教育支援グローバル基金）。当事業は、未来を担う若者が今回の災害によって教育機会を失われることのないよう、奨学金提供ならびに国内外のトップクラスの教育機関との提携による就学支援・リーダーシップ教育などの各種プログラムを提供し、次世代を担う人材輩出の支援を行います。

**■代表理事**

近藤 正晃	ジェームス	Twitter 日本代表、一橋大学客員教授
高島 宏平		オイシックス株式会社 代表取締役社長
藤沢 久美		シンクタンク・ソフィアバンク副代表、社会起業家フォーラム副代表
船橋 力		株式会社 ウィル・シード 代表取締役社長

**■理事**

浅尾 慶一郎		衆議院議員
岡島 悦子		株式会社プロノバ 代表取締役社長
小林 正忠		楽天株式会社 取締役常務執行役員
佐藤 輝英		株式会社ネットプライスドットコム 代表取締役社長 兼 CEO
坪内 南		一般財団法人 教育支援グローバル基金 事務局長
堀 主知	ロバート	株式会社サイバード 代表取締役社長
牧原 秀樹		前衆議院議員 弁護士・ニューヨーク州弁護士 政策研究大学院大学
松崎 みさ		株式会社アシモード 代表取締役
松田 公太		参議院議員

**■評議員**

茅野 みつる		カリフォルニア州弁護士
土井 香苗		弁護士、ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表
宮城 治男		NPO 法人 ETIC. 代表理事

**■監事**

江崎 滋恒		アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士
-------	--	-----------------------

**■アドバイザー**

竹中 平蔵		慶應義塾大学教授 グローバルセキュリティ研究所所長
-------	--	---------------------------

**■賛同 YGL**

岩瀬 大輔		ライフネット生命保険代表取締役副社長
大塚 拓		前衆議院議員
齋藤 ウィリアム浩幸		Intecur, K.K. 創業者兼最高経営責任者
堂前 宣夫		株式会社ファーストリテイリング／株式会社ユニクロ 上席執行役員
西山 浩平		エレファントデザイン株式会社 代表取締役社長
松古 樹美		野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室長 マネージングディレクター、ニューヨーク州弁護士
山崎 直子		宇宙飛行士

◆本基金に関するより詳細な情報は下記にて提供しております。

ウェブサイト：<http://www.beyond-tomorrow.org>

**【関係者問い合わせ先】** 一般財団法人教育支援グローバル基金  
 担当：阪本 TEL：090-6964-3033  
 e-mail：[info@beyond-tomorrow.org](mailto:info@beyond-tomorrow.org)

以上

\*\*\* 事業名「ビヨンドトゥモロー／BEYOND Tomorrow」には、「明日を超えて」という訳の通り、中長期的な視野から未来を担う人材の育成を願う意味がこめられています \*\*\*